

授業科目 障害者福祉論 II

【担当教員名】 野口 晃	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GI0】
 障害者の支援においては、障害者に関する法律や制度を踏まえて、社会的自立や社会参加へのより良き支援が社会福祉士に求められる。

1. 障害者にとっての就労の持つ意義は大きい。相談援助者として必要な各種の就労支援制度や社会資源等について理解する。
2. 就労支援に係る各機関、団体、専門職の役割について理解しその実際について知識を深める。
3. 就労支援分野との連携とその実際について考察し、実践的な相談援助者としてのスキルを向上させる。

これらの一般目標を通して幅広い視野に立ち社会福祉士としての問題解決能力と力量を高める。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 障害者総合支援法の専門職の役割とその実際を学び、障害者の相談援助活動及び多職種間の連携と協働・ネットワークについて理解を深め、問題解決のための実践的知識として生かす。
2. 働くことの意味と現代の雇用動向及び主要な労働法規について学ぶ。そして、社会福祉士としての視野を広げる。
3. 障害者の就労の現状について学び、就労支援制度について理解し専門的な知識や判断力の土台を形成する。
4. 障害者雇用施策の意義や就労支援サービスの実際を学び、問題解決能力を高める。
5. 就労支援に係る専門機関の役割や就労支援策について理解し福祉増進のための課題をとらえる。
6. 民間の取り組みの現状と諸外国の取り組みについて理解し、幅広い視野に立ち問題解決能力を高める。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	障害者総合支援法の専門職の役割と実際について理解する	1	講義
2	障害者相談支援の多職種間連携と協働・ネットワーキングについて学ぶ	1	講義
3	現代の労働を取り巻く現状について理解する	2, 3	講義
4	労働基準法等、就労に関連する法律について学ぶ（1）	2, 3, 4	講義
5	労働基準法等、就労に関連する法律について学ぶ（2）	2, 3, 4	講義
6	障害者の雇用・就労の動向と地域生活移行の現状について学ぶ	2, 3, 4	講義
7	障害者と就労支援制度の概要と支援の対象像について学ぶ	3, 4	講義
8	障害者雇用促進法と職業リハビリテーションについて学ぶ（1）	3, 4, 5	講義
9	障害者雇用促進法と職業リハビリテーションについて学ぶ（2）	3, 4, 5	講義
10	障害者雇用促進法と職業リハビリテーションについて学ぶ（3）	3, 4, 5	講義
11	障害者の雇用・就労を取り巻く現状と課題と 労働施策の概要について学ぶ	3, 4, 5	講義
12	障害者の雇用・就労支援策と特別支援教育の職業教育について学ぶ	3, 4, 5	講義
13	民間の取組の現状と課題について学ぶ	1, 3, 4, 5	講義
14	障害者雇用の諸外国の実態と今後の課題について理解する	1, 2, 3, 4, 5	講義
15	まとめ	1, 2, 3, 4, 5	まとめ

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	就労支援サービス	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	1,680円・最新版
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,310円・最新版
参考書	社会福祉小六法		中央法規	1,680円・最新版
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
1. 出席状況、2. 振り返りレポート・小テスト、3. 期末試験等を総合して評価する。	社会福祉専門職を目指す学生にとって必須の専門科目であるので、目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。